

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第1面）

<p>特別管理産業廃棄物処理計画書</p> <p>令和7年 5月30日</p> <p>大阪府知事 様</p> <p>住 所 大阪府大阪市中央区道修町4-5-13</p> <p>提出者 藤本化学製品株式会社</p> <p>氏 名 代表取締役 藤本 和将</p> <p>（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）</p> <p>電話番号 06-6222-0147</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	藤本化学製品株式会社 泉北工場
事業場の所在地	大阪府泉大津市臨海町1-24
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	16: 化学工業
② 事業の規模	製造品出荷額：129億3202万円
③ 従業員数	146人
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙2～3の通り

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 (管理体制図) 最終シートに記入
--

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		①現状								
	特別管理産業廃棄物の種類	①引火性廃油	②廃油（有害）	③廃アルカリ（有害）	④強アルカリ	⑤廃酸（有害）	⑥水銀	⑦引火性廃油（有害）			
	排出量	2214.76 t	110.72 t	3.59 t	80.42 t	0.003 t	0 t	336.02 t	t	t	t
	(これまでに実施した取組) ・実施していない										
②計画	【目標】		②計画								
	特別管理産業廃棄物の種類	①引火性廃油	②廃油（有害）	③廃アルカリ（有害）	④強アルカリ	⑤廃酸（有害）	⑥水銀	⑦引火性廃油（有害）			
	排出量	2400 t	80 t	4 t	80 t	0 t	0 t	220 t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・予定なし										

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・引火性廃油、引火性廃油（有害）、強アルカリ、廃アルカリ（有害）、強酸、はそれぞれ分別して保管している。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現状維持

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項				自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項							
①現状	【前年度（令和6年度）実績】			①現状							
	特別管理産業廃棄物の種類	①引火性廃油	②廃油（有害）	③廃アルカリ（有害）	④強アルカリ	⑤廃酸（有害）	⑥水銀	⑦引火性廃油（有害）			
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
	(これまでに実施した取組) ・実施していない										
②計画	【目標】			②計画							
	特別管理産業廃棄物の種類	①引火性廃油	②廃油（有害）	③廃アルカリ（有害）	④強アルカリ	⑤廃酸（有害）	⑥水銀	⑦引火性廃油（有害）			
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・予定なし										
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項				自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項							
①現状	【前年度（令和6年度）実績】			①現状							
	特別管理産業廃棄物の種類	①引火性廃油	②廃油（有害）	③廃アルカリ（有害）	④強アルカリ	⑤廃酸（有害）	⑥水銀	⑦引火性廃油（有害）			
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した特別	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
(これまでに実施した取組) ・実施していない											
②計画	【目標】			②計画							
	特別管理産業廃棄物の種類	①引火性廃油	②廃油（有害）	③廃アルカリ（有害）	④強アルカリ	⑤廃酸（有害）	⑥水銀	⑦引火性廃油（有害）			
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する特別	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t	t
(今後実施する予定の取組) ・予定なし											

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項				自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項							
①現状	【前年度（令和6年度）実績】			①現状							
	特別管理産業廃棄物の種類	①引火性廃油	②廃油（有害）	③廃アルカリ（有害）	④強アルカリ	⑤廃酸（有害）	⑥水銀	⑦引火性廃油（有害）			
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
(これまでに実施した取組) ・実施していない											
②計画	【目標】			②計画							
	特別管理産業廃棄物の種類	①引火性廃油	②廃油（有害）	③廃アルカリ（有害）	④強アルカリ	⑤廃酸（有害）	⑥水銀	⑦引火性廃油（有害）			
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
(今後実施する予定の取組) ・予定なし											
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項				特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項							
①現状	【前年度（令和6年度）実績】			①現状							
	特別管理産業廃棄物の種類	①引火性廃油	②廃油（有害）	③廃アルカリ（有害）	④強アルカリ	⑤廃酸（有害）	⑥水銀	⑦引火性廃油（有害）			
	全処理委託量	2214.76 t	110.72 t	3.59 t	80.42 t	0.003 t	0 t	336.02 t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	2214.76 t	110.72 t	3.59 t	80.42 t	0.003 t	0 t	336.02 t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	96.69 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	411.1 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	30.38 t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	458.08 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
(これまでに実施した取組) ・産廃情報ネット等の情報を参考に委託基準を遵守できる産廃処理業者を選定しており、定期的に処理状況の現地確認を行っている。											

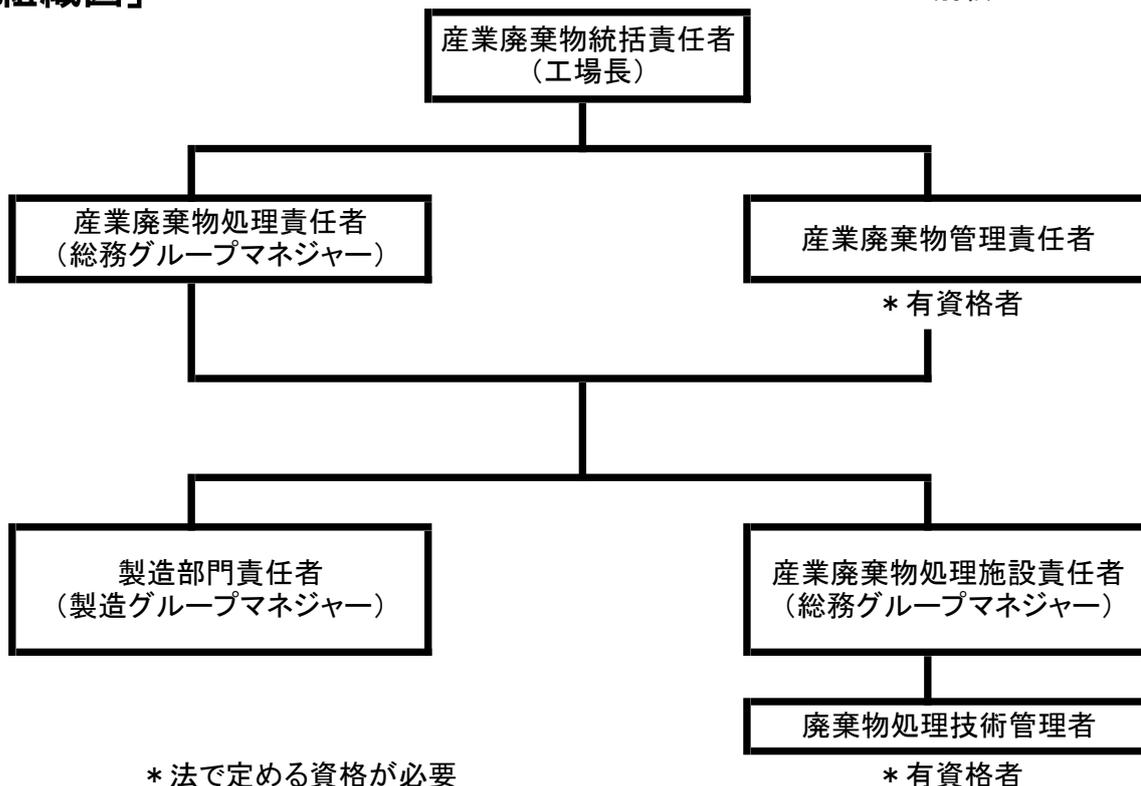
	【目標】		②計画					②計画			
	特別管理産業廃棄物の種類	①引火性廃油	②廃油（有害）	③廃アルカリ（有害）	④強アルカリ	⑤廃酸（有害）	⑥水銀	⑦引火性廃油（有害）			
②計画	全処理委託量	2400 t	80 t	4 t	80 t	0 t	0 t	220 t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	1700 t	20 t	4 t	80 t	0 t	0 t	220 t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	60 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	700 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)										
	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の処理条件に見合った優良認定処理業者または、再生利用業者等の導入の検討を行う。 ・委託処理業者に対しては、引き続き定期的に処理状況の確認を行う。 										
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度（令和6年度）実績】										
	特別管理産業廃棄物排出（ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く）	2745.513 t									
	(今後実施する予定の取組等)										
	<ul style="list-style-type: none"> ・2018年12月より電子マニフェスト導入済み。 										
※事務処理欄											

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トンを超える者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

「社内組織図」

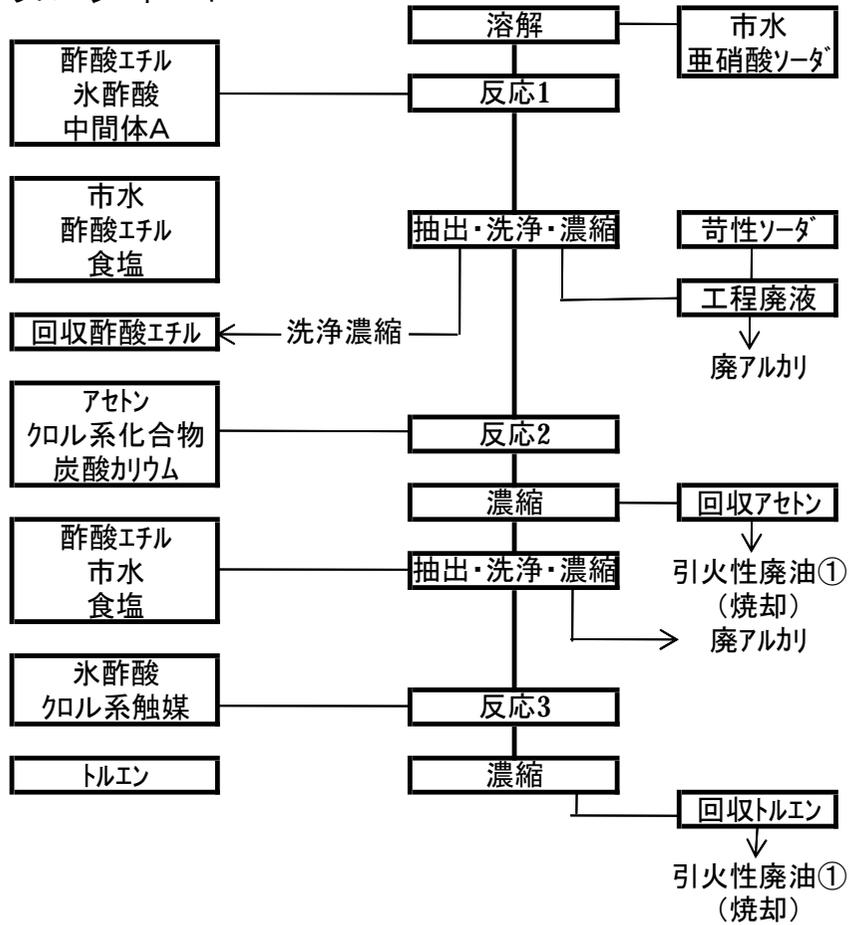
別紙1



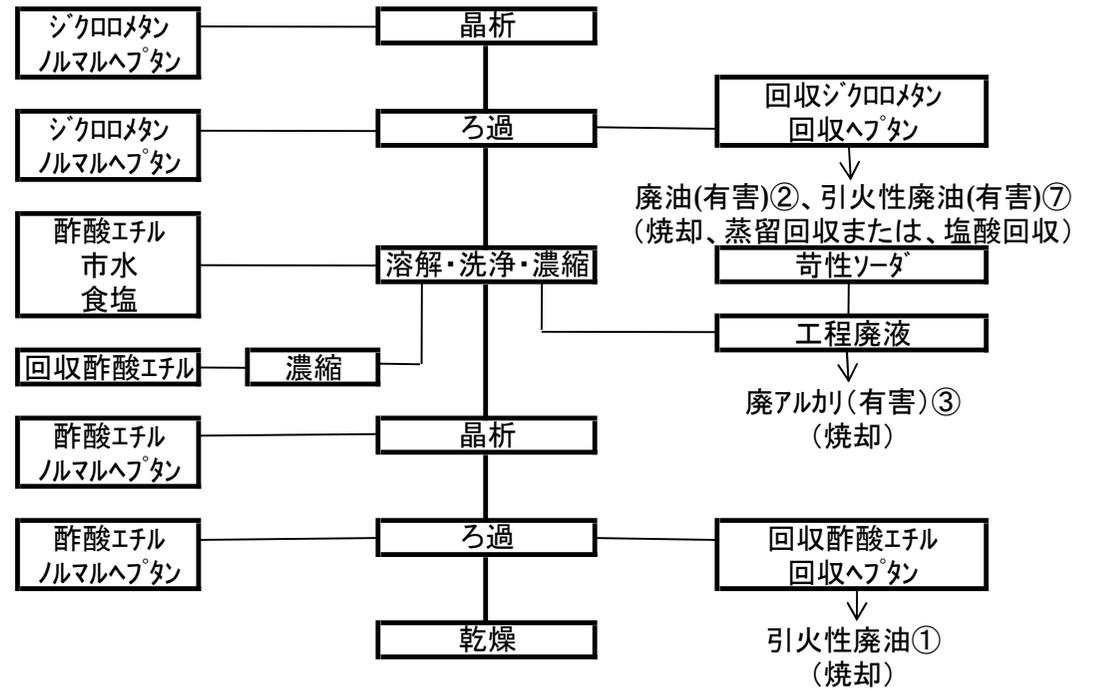
「責任者及び管理者の責務」

責任者及び管理者名	責任者及び管理者の責務
産業廃棄物統括責任者	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物の適正管理及び減量化、資源化等に関する社内啓発 処理業者委託の委託契約
産業廃棄物処理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 統括責任者の命を受け、各責任者を監督、指導する。 行政に対する報告 産業廃棄物の委託先の調査 産業廃棄物の処理費用の調査 排出先の定期視察 委託伝票(マニフェスト)の管理 委託業者の作業指示と監督
製造部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> 発生する廃棄物の種類、性状及び量の把握 各保管施設の点検と維持管理 廃棄物発生量の帳簿作成 廃棄物の減量化・再資源化の調査
産業廃棄物処理施設責任者	<ul style="list-style-type: none"> 運転操作員の指揮監督 処理の運転日報・月報の作成と保管
廃棄物処理技術管理者	<ul style="list-style-type: none"> 処理施設の運転、維持管理

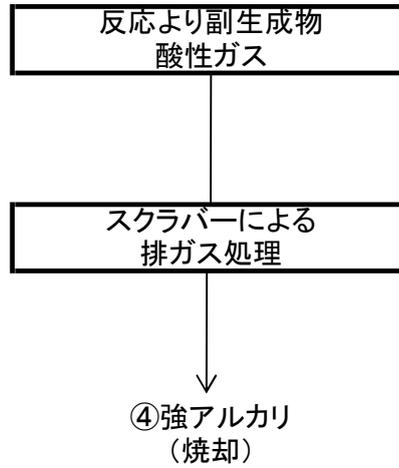
フローシート 1



別紙2



フローシート④



フローシート⑤⑥

